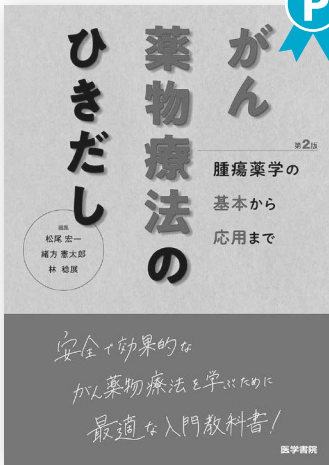




あらずることは今起こる

柴崎友香＝著
定価 2,200 円／A5 判・304 頁／医学書院／2024

眠い、疲れる、固まる、話が飛ぶ、カビを培養する。それは脳が励ましの歌を歌ってくれないから？—— ADHD と診断された小説家は、薬を飲むと「36 年ぶりに目が覚めた」。私は私の身体しか体験できない。それにしても自分の内側でいったい何が起きているのか。「ある場所の過去と今。誰かの記憶と経験。出来事をめぐる複数からの視点。それは私の小説そのもの」と語る著者の日常生活やいかに。SF じゃない並行世界報告！



がん薬物療法のひきだし 第2版

腫瘍薬学の基本から応用まで
松尾宏一、緒方憲太郎、林稔展＝編
定価 5,830 円／B5 判・568 頁／医学書院／2024

若手薬剤師や薬学生に向けてがん薬物療法に必須の基礎知識を整理・解説した教科書。日常で直面する疑問点を解決するための「ひきだし」（＝応用力）もしっかり身に付く。初版の内容をアップデートし、さらなる使いやすさを目指してブラッシュアップ！ 目次は「1. 総論」「2. 抗がん薬各論」「3. がん薬物療法」「4. 支持療法」「5. 緩和ケア」で、各章の情報・解説が相互につながって理解が深まるように工夫した。



生活期におけるリハビリテーション・栄養・口腔管理の協働に関するケアガイドライン

「生活期におけるリハビリテーション・栄養・口腔管理の協働に関するケアガイドラインおよびマニュアルの整備に資する研究」班＝編
厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）
定価 2,860 円／B5 判・216 頁／医学書院／2024

リハビリテーション・栄養・口腔管理の一体的取り組みのための初のガイドライン！ 要介護高齢者の日常生活活動および栄養状態、摂食嚥下や口腔内の問題は、相互に関連・影響するもので、単独介入ではなく、多職種による一体的な複合的介入こそ最も効果があると考えられてきた。しかし、その効果を検証した研究は少なく、ガイドラインもなかった。自立支援・重度化防止に向け、CQ11 問・BQ21 問を含む、リハビリテーション・栄養・口腔管理の一体的取り組みのための国内外初のガイドライン、ここに堂々刊行！

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.855)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



『BRAIN and NERVE』2024年5月号(増大号)(Vol.76 No.5) 特集 末梢神経・筋肉の自己免疫性・ 炎症性疾患ハンドブック

定価 6,490 円/264 頁・A4 変判/医学書院/2024

好評を博した 2021 年 5 月号増大号「中枢神経の自己免疫性・炎症性疾患ハンドブック」の続編。中枢神経と同じく、末梢神経・筋肉の自己免疫性・炎症性疾患は決して common disease というわけではない。しかし、神経学の臨床に携わる者にとっては必ず遭遇する疾患群であり、臨床家として最新の知識にキャッチアップしておかなければならない領域だ。種々の検査法から多数の疾患の病態・治療までを網羅した本特集は、末梢神経・筋肉の自己免疫性・炎症性疾患に関する現在までの到達点とも言える。本特集を道標として強固な知識の基盤を築き上げることで、病気に苦しむ患者さんに希望の灯をともすことができるはずだ。



『総合リハビリテーション』2024年5月号(Vol.52 No.5) 特集 回復期リハビリテーション医療を 推進するチームアプローチ

定価 2,640 円/116 頁・B5 判/医学書院/2024

回復期リハビリテーション病棟では、多職種協働にてリハビリテーション治療が集中的に展開されている。診療報酬上、より重症の患者を受け入れることが求められるようになり、患者が抱えるさまざまな課題に多職種チームで横断的に対応することの重要性がますます高まっている。本特集では、回復期リハビリテーション病棟におけるチームアプローチの現状と課題のほか、栄養管理、転倒予防、排泄ケア、退院支援、および就労支援に対応するチームアプローチについて、各分野のエキスパートが解説している。



『公衆衛生』2024年6月号(Vol.88 No.6) 特集 感染症法2類相当時代の COVID-19 対策レビュー 次のパンデミックに備えて

田中英夫＝企画

定価 2,750 円/B5 判・128 頁/医学書院/2024

2023 年 5 月に感染症法上の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の扱いが 5 類相当に変更されて約 1 年が経過した。本特集では、内閣感染症危機管理統括庁の役割を中心とした新たな国の感染症危機管理体制について、厚労省医務技監の迫井正深先生が概説。ポピュレーションアプローチとしての行動制限、積極的疫学調査のデータ活用、検査・外来診療体制、入院・入院外療養・入院調整機能、そして高齢者に対するワクチン優先接種事業の 5 編は、主として保健所側から見た対策の重要課題を提示。メディア側から見た対策の課題について考察するレポートも収録している。